

加西市地域公共交通活性化・再生総合事業

21～23年度

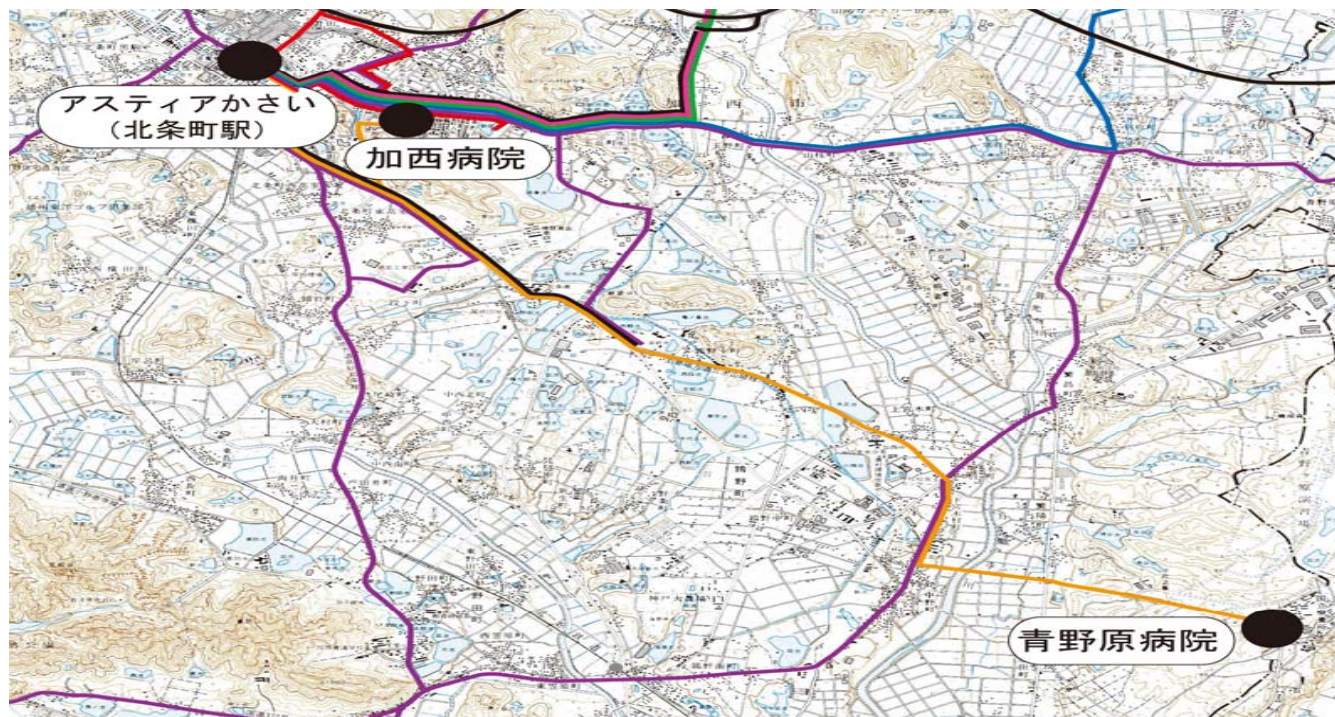
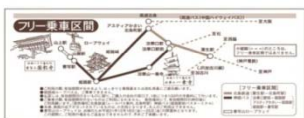
クルマを気軽に利用できない人(公共交通不便地域の住民や高齢者等の移動制約者等)の移動を公共交通で確保することで市内・市外の移動の自由度を高めることを目的とする。

【加西市公共交通活性化協議会】

加西市、兵庫県、国(運輸局)、北条鉄道、バス・タクシー事業者、加西警察署、道路管理者、有識者、商工・観光関係者、住民代表、

事業の概要(21年度)

- 路線バス・鉄道等の利用促進(大人2,000円、子供1,000円)フリー切符(神姫バス・北条鉄道協働)の開発。三つの乗物が(バス・鉄道・ロープウェイ)乗り放題。



- 賑わいある鉄道駅整備 1,130千円

北条町駅待合室への観光案内所の移設



- 利用者利便を図る制度の構築<内容> 2,220千円
鉄道グッズ(チョコQ)の製作
子供向けのイベントを開催して参加の子供に記念配布する



21年度 導入 への プロセス

路線バスの利用促進として、法華山一乗寺は西国二十六番目の札所であり、書写山圓教寺周遊できるバス・鉄道が提携したフリー切符を発売し、乗物（バス・鉄道・ロープウェイ）が乗り放題できる商品で新たな需要の掘り起こしを図る。

加西市の観光案内所は、利用しづらい場所（駅待合室から道路を挟んだ商業ビル1F）にあり、分かりにくい等の苦情が寄せられていたため、北条町駅待合室に観光案内所を移設した。

利用者利便を図る為に北条鉄道オリジナルチョコQを製作し、各イベント開催において子供をターゲットに鉄道への関心を持って貰う為の構築を図っていく。

21年度 事業の 効果

観光利用の促進

北条町駅待合室に観光案内所がリニューアルされた。これまでは、観光客から分かりにくい所に設置されていて苦情が寄せられていた。リニューアル後は観光のボランティアの方々が随時常駐し、観光名所等のパンフレットを置いてきめ細かい対応が出来るようになり観光客から分かりやすくなったと好評を得るようになった。

潜在需要の掘り起こし

オリジナルチョコQの製作により、子供を対象にした催しを本年度は5回開催し、参加者も大変多く（特に親子連れ）、北条鉄道が好きになったという親子連れの参加者からの声を多くいただくなど、大変好評であった。次年度は、子ども向けイベントだけでなく、京阪神地区で開催されるイベント（鉄道フェスティバル等）にも出店し、北条鉄道の知名度を向上させ、他地区から訪れる方を多く呼び込みたいと考えている。

他モードとの連携による利用促進

フリー切符については21年10月の発売から半年間で1490枚（2000枚作成の内）の販売があった。完売には至らなかったが、発売前に比べ乗降客数が約4倍と利用者が大幅に増えたことや、観光名所を周遊でき、大変お得な切符であるという利用者の声が多くあったことから、一定の効果があったと考える。

次年度 以降

加西市の特長である多様な交通モードが連携していくことで、更なる利用促進を図っていく

加西市の公共交通は、北条鉄道、バス事業者、タクシー事業者という多様な交通事業者を支えられている。また、市民のモビリティ確保による地域の活性化を推進するために、市民、交通事業者、行政の三者が連携して協力することが重要である。

次年度以降も、バス・鉄道が連携した新たな商品の開発やイベント開催などを行うことで、新たな観光客の掘り起こしが図られ利用促進に繋がっていくことが必要である。